

# IoTの導入方法と工場自動化へのアプローチ

(株)日立製作所 神奈川事業所 工場見学付

12月13日(金)

**会場** (株)日立製作所 神奈川事業所 小講堂  
※当日は9:30 小田急線 秦野駅に集合  
(バスでのご移動となります)

10:00～16:00(9:30集合)

**受講料** 1名につき71,500円(税込、昼食、バス代、資料付)  
【会員登録をいただいた方:1名につき66,000円  
2名以上同時申込で1名につき55,000円)】

※工場見学に際し、簡単な誓約書を結んでいただく必要がございます。※同業他社の方はお断りしております。

## 第1部 工場自動化へのアプローチと製造工程情報活用術 10:00～12:20

講師:ケイデンスコンサルティング 代表 川下 敬之 氏

昨年、製造業の生産性向上の切り札として、ロボット、IoT、RPA、AIといったデジタル技術のキーワードがよく聞かれます。雑誌やテレビなどでは、大きな効果を上げた企業を取り上げられ、我々も取り組みたいと思われる企業も増えています。しかし、色々な情報がありすぎてどこから始めればいいのか分からないとか、いざ取組みを開始してみたが期待したような成果が出ないという話も聞かれます。本講座では、このような取り組みの担当者のお悩みや疑問を解決します。これから取組みを開始する企業の方、取り組みは行っているが方向性に悩まれている方など多くの方の参加をお勧めします。

### 1. 国内製造業でのデジタル技術の活用の実際

- 1-1 ロボットやIoTなどの活用が期待されている背景
- 1-2 二極化が進む活用実態

### 2. 製造業で活用できるデジタル技術とはどのようなものなのか

- 2-1 最新ロボット事情
- 2-2 IoTとは何なのか
- 2-3 RPAは何故、即効性があるのか
- 2-4 AIは魔法なのか
- 2-5 ITはどうなった

### 3. 製造業でデジタル技術を活用することの意味

- 3-1 すでにデジタル技術が当たり前になっている業界の例
- 3-2 デジタル技術による変革が期待される業界の先進例
- 3-3 真に成果を出すための取組み手法

### 4. 取り組むための最初の一步

- 4-1 調査してもデジタル技術の価値はわからない
- 4-2 取り組むのはデジタル技術導入ではなく、生産プロセス改善
- 4-3 工場自動化へのアプローチと製造工程情報活用術
- 4-4 アジャイル改善のススメ
- 4-5 自社で人材を育成するためのメニュー

## 第2部 (株)日立製作所 神奈川事業所 (IoT研修、工場見学) 13:00～16:00

IoTの改善によるリードタイムの短縮方法とは?IoTの製造現場への適用、効果測定!

自動倉庫からの部品搬送や組立ラインでのロボット活用による自動化!

部品入庫から製品出荷まで、IoTを活用した効率化とは?

13:00～13:10 オリエンテーション(ご挨拶、神奈川事業所のご紹介)

13:10～13:40 IoT講座(IoTを活用したモノづくりへの取組み)

13:40～13:50 見学準備

13:50～15:00 (ストレージ製品組立、プリント基板製造現場 見学)

【ご覧いただける内容】

- ・自動倉庫+無人搬送車+RFIDカードによる部品のオンデマンド供給
- ・生産設備状態や生産進捗の見える化
- ・電子作業図面と作業支援システムによる組立のリードタイム短縮 など

15:00～15:10 (休憩)

15:10～15:40 IoT講座(日立のIoT適用事例)

15:40～16:00 質疑応答

セミナー申込書 FAX : 03-5857-4812

会社・大学		住所	〒	電話番号	
氏名①		所属		E-Mail	
氏名②		所属		E-Mail	
会員登録(無料) ※複数選択可	<input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> 郵送	●会員登録について● すでにご登録済みの方も再度ご選択ください。会員登録をいただくと、聴講料の割引や特典を適用いたします。 なお、2名同時申込の割引に関しては、ご両名の登録が必須です。			